

⑬ ウイルスは常に変異しています

一般的に変異のたびに感染力は強まりますがウイルスのもつ力は弱くなっています。オミクロン株で、軽症・無症状が多いのはこのためです。



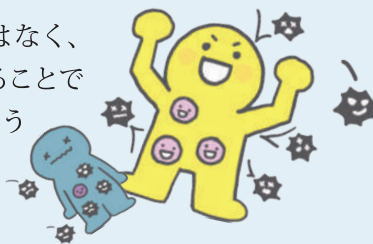
⑭ これまでもコロナに感染しても



99%以上の方は回復しています。子どもや若い世代は、ほとんど重症化しません。

⑮ さあ！ウイルスから逃れるために

ワクチンに頼るのではなく、自分の免疫力を上げることであなたの体を守るという考え方に変わっていきましょう！



⑯ ホメオパシーは免疫力を上げ自己治癒力を触発する、副作用ない自然療法



この熱が体から出ていってほしい。体に溜まった老廃物を排出するために熱も、鼻水も咳も、下痢も、症状はありがたいと考えるのが、ホメオパシーの基本です。

⑰ すでにワクチンを打った方も

ワクチンの解毒をする方法がホメオパシーにはあります。

(日本では20年以上前から、ホメオパシーによるワクチンの解毒の方法を研究・開発し、しっかりと成果を上げています。ホメオパシーの歴史みても、これに関する文献は138年前から存在します)。



⑱ 私たち一人ひとりが情報に流されることなく



症状をありがたいとしウイルスを過度に恐れず普通の生活に戻ること、この騒動は自ずと終わっていきます。

⑲ 感染した場合の対応も、ワクチンを打った後の対策も、この困難を乗り越える方法もホメオパシーにはいつも解決策があります！

ご家族一緒に下記の動画をご視聴ください。

はじめてレメディやサポートチャックをおとりになれる方は、ホメオパシー療法を正確にご理解いただくためにまず「由井寅子のホメオパシー療法入門」右記QRコードを読み込んでご視聴ください。セルフケアで対処が難しい場合はJPHMA認定ホメオパスの健康相談をお勧めします。



新型コロナワクチンについて

JPHMS名誉会長 由井寅子

とらこ先生の緊急発表動画



★右記のQRコードを読み取り、さまざまな最新の無料動画をご視聴いただけます。

新型コロナワクチン
を

前打
つ

知っておきたいこと



高野弘之 医師



由井寅子
JPHMA名誉会長



内科・小児科
豊受クリニック
TOYOUKE Clinic



作成：日本ホメオパシー医学協会 (JPHMA)

監修：豊受クリニック院長 高野弘之医師

JPHMA (火～土 9:30～17:30)

TEL : 03-5797-3073

E-mail : jphma@homoeopathy.ac

① 3回目、4回目のブースター接種

5才以上の小さな子どもへのワクチン接種が始まります。



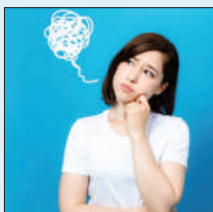
② でもちょっと待って!!

なんだかおかしいと思いませんか!?



③ ワクチンを打てば

マスクや除菌、自粛生活から解放されると思っていたのに、ワクチンを打つ前と今でも、生活は何も変わりません…。



④ 初めのは

ワクチンの予防効果は90%以上とテレビで言っていたのに今は「重症化を防ぐ効果」ということになっていきました。



⑤ 2回接種していても

「ブレークスルー感染」と名付けて、コロナに感染する事例が相次いでいます。果たして本当に新型コロナワクチンには効果があったのでしょうか?



⑥ ワクチンの危険性も分かってきました



2021年12月5日現在、1,431名以上がワクチン接種後に亡くなっていると厚生労働省が発表しています。

⑦ とても悲しいことに

小学6年生の女子や、中学1年生の男子なども犠牲になっています。しかし、そういった事実は一切報道されることはありません。



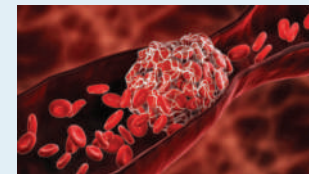
⑧ 接種後の心筋炎が



数多く発生したためついに厚労省もワクチン接種の副反応として心筋炎を認めました(男性5.9倍、女性21倍に増えています)。

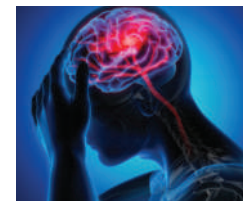
⑨ ワクチン接種で血液が固まりやすく

血管を傷つけるため、脳梗塞、心筋梗塞、不正出血、失明などの副反応や後遺症が起こることが分かってきました。



⑩ さらにワクチン接種で神経を傷つけることも

顔面神経麻痺や、下半身の麻痺や痺れ、てんかんや認知症の症状などが出ることも分かってきました。



⑪ 今回の新型コロナワクチンは



遺伝子ワクチンという人類が初めて経験するものですが、安全性を確認する治験すら終了していません。

⑫ 接種直後の副反応や後遺症だけでなく

数年後、数十年後にどんな病気に繋がるか分かりません。ワクチンのデメリットもしっかり考えましょう!

